

TQ-7000_pt ライトユニット 説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書、下記の注意書きなどをよくお読みの上、お楽しみください。



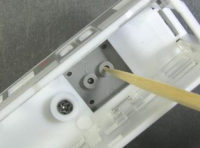
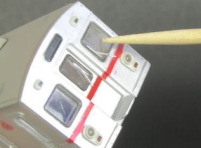

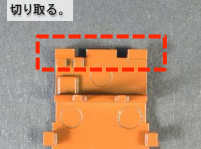
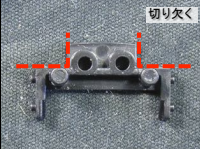
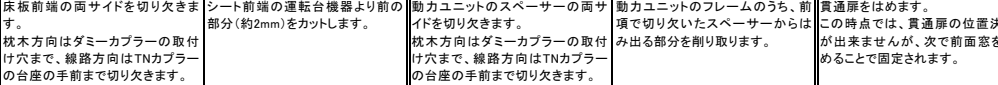

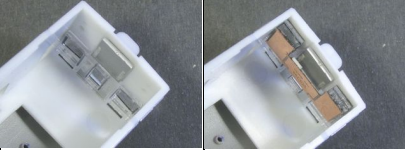

【はじめに】
点灯化キットは、鉄道コレクションに、集電システム、ライトユニット、室内灯を組み込み、ヘッド・テールライト、室内灯を点灯させるためのキットです。
本キットは以下の車両に対応します。
・東急7000系(初代)の原形車とその譲渡車
・東急7700系
(2008年に事業者限定で発売された東急7000系2両セットは、ヘッド・テールライトが塗装表現ですので、原則として非対応とします。)
本キットは、トレーラー車、動力ユニット付き車、どちらにも対応します。(チラツキ対策を施しています。)

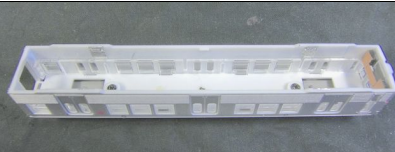

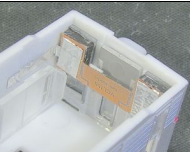
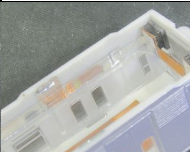
⚠️ 注意
・この商品は15歳以上のお客様にお楽しみいただける商品です。
・機能上小さな部品が使われており、誤飲の危険がありますので、3歳未満のお子様には絶対に与えないでください。
・機能上尖った部分があります。取り扱いには十分ご注意ください。
・加工の際の刃物や工具の取り扱いには十分ご注意ください。
・加工、組立の際に出たクズは、すぐに捨ててください。
・接着剤・塗料は、火気のない場所で、換気に注意してお使いください。
・車両は必ず直流(DC)12V以下で運転してください。交流(AC)は絶対に使用しないでください。
・ライト類は必ず動力車と編成を組んだ状態で点灯させてください。また、停止させたまま長時間点灯することはおやめください。
・脱線した場合、動力車やパワーユニットが発熱する恐れがありますので、直ちに電源を切り、復旧させてください。
・当キットのライトユニット・室内灯は、1両あたり合計最大約30mAの電流が流れます。電源の容量をご確認の上、お楽しみください。


【パッキングリスト】
このキットには、以下の材料がセットされています。加工を始める前に不足がないかお確かめください。
【ライトユニット】
・ライトユニット : 1個/セット
【その他】
・説明書(本紙) : 1枚
・導電性アルミテープ(15mm×約120mm) : 3枚/箱
※導電性アルミテープは、楊枝や綿棒などを使って、しわを伸ばすようにして、しっかりと張ってください。
※導電性アルミテープは、導電性の接着剤が塗布されていますが、何度も貼り直していると導電性が失われていきます。接着剤の導電性を活用する箇所では、一度しっかり貼ってしまったアルミテープの再利用は避けてください。

【必要な工具】
・カuttingマット
・ピンセット
・ニッパ
・プラスドライバー
・両面テープ
・木工ボンド
・ポリエステルテープ(ニチバン「マイラップ」、セメダイン「ラピー」など)
・カッターナイフ(デザインナイフが望ましい)
・楊枝、綿棒など
・ピンバイス(0.3mm、0.5mm、0.8mm、1.0mm)
・精密ヤスリ(平、丸、半丸など)
・ゴム系接着剤
・プラモデル用接着剤
・直定規
・塗装面を保護する柔らかい布
・ボン手(ブッシュピンなどでも可)
・サンドペーパー
・マスキングテープ
・瞬間接着剤
・遮光用の塗料(黒または銀)

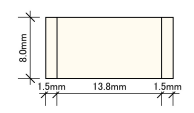
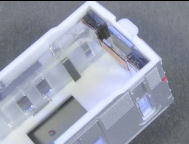
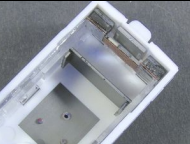
●取り付け手順

1. 分解する				
1-1 床板を外す	1-2 パンタグラフを外す	1-3 窓ガラスを外す	1-4 前面パーツを外す	
				
車体と床板の間を押し広げ、床板を外します。	この車種は、屋根を外すことは必須ではありません。屋根を外さない場合は、傷をつけないように、柔らかい布などで保護しながら作業してください。	パンタグラフは、楊枝などで内側から押し外します。	窓ガラスは、側窓、前面の順に外します。側窓の前面との接触部が外しにくい場合は、O印部の前面側にある突起を削ると、外しやすくなります。	
2. 車体を加工する。				
(1-4つづき)	【注記】	2-1 前面透明パーツの加工	2-2 貫通扉の加工	2-3 側窓を加工する
				
貫通扉が別部品になっていますので、紛失しないように注意します。	屋根を外した際、通過標識灯のレンズの戻し方がわからなくなりがちです。参考に、塗装状態の写真を掲載します。	側窓の裏側のツメを削り取ります。	側窓前端を、乗務員扉の窓の下側の角に接する45度の線でカットします。ヘッド・テールライトは使用しないので保管します。	
3a. 床板を加工する		3b. 動力ユニットを加工する		
(トレーラー車の場合)		(動力ユニットを組み込む場合)		
				
床板前端の両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	シート前端の運転台機器より前の部分(約2mm)をカットします。	動力ユニットのスペーサーの両サイドを切り欠きます。枕木方向はダミーカブラーの取付け穴まで、線路方向はTNカブラーの台座の手前まで切り欠きます。	貫通扉をはめます。この時点では、貫通扉の位置決めが出来ませんが、次で前面窓をはめることで固定されます。	
4. ライトユニットの取付				
4-1 貫通扉をはめる				
				
5. 配線する				
4-2 前面窓をはめる	4-3 ライトユニットをはめる		5-1 側窓をはめる	5-2 側窓下の凸部にアルミテープを貼る
				
前面窓の貫通扉両側の柱の部分に、両面テープを貼ります。	ライトユニットをはめます。緩い場合は、両面テープなどで固定します。		連結面窓→側窓の順に窓ガラスをはめます。必要に応じて両面テープで固定します。	床板との嵌合部の凸部に、5mm×5mmのアルミテープを貼ります。テープの先端が車体裾に接するように貼ります。

<p>(5-2つづき)</p>  <p>車体の四隅の嵌合部に貼ります。</p>	<p>5-3 ライトユニットへの配線</p>  <p>1.5mm × 12mmのアルミテープを使い、側窓下からライトユニットの給電パッドまで配線します。 ※必ず1.5mm幅の細いテープを使用します。太いテープはかえって通電を悪化させます。</p>	<p>5-4 給電パッドの重ね貼り</p>  <p>ライトユニットの給電パッドの通電の確実を期して、3.5mm × 5.5mmのアルミテープを重ね貼りします。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>	<p>5-5 側窓下をアルミテープで結ぶ</p>  <p>この項目は、室内灯を取り付ける場合は、室内灯を取り付けた後に、作業します。</p>
---	--	--	--

<p>(5-5つづき)</p>  <p>3mm × 100mmのアルミテープを2本用意します。 側窓の下端に沿って、ライトユニットへの配線、前の嵌合部、後の嵌合部、室内灯の配線の4ヶ所を、一気に接続するように貼ります。 ※重要なテープですので、新鮮なテープを使用し、シワを伸ばすような感じで、しっかりと圧着します。</p>

●乗務員室仕切りを取り付ける(室内灯を取り付ける場合にお好みで)

0. パーツを作る	1 棧を取り付ける	2 仕切りを取り付ける
<p>乗務員室仕切り 型紙</p>  <p>0.5mmのプラ板でパーツを作ります。 (遮光に適した黒いプラ板を分売しています)</p>	 <p>乗務員室仕切りの棧を、乗務員室扉後部の壁の中央に、両面テープで固定します。両面テープは、壁への接着面だけでなく、前側の切口までL字形に貼っておきます。</p>	 <p>乗務員室仕切りを、棧の後側に設置します。</p>

TQ-7000_pt 説明書 3.00
 2014/09/12 1.00 初版
 2015/04/01 2.00 製品フォーマット改定に伴う新版
 2017/08/25 3.00 製品フォーマット改定に伴う新版

補修用にアルミテープ等を分売しています。
 ism-works.shop-pro.jp をご覧ください。

《お問い合わせ先》
 イズムワークス・直売所
 〒249-0002 神奈川県逗子市山の根1-5-15. 店舗営業はしていません。
 phone: 0468-27-7261, 10:00~18:00 土日祝休業, e-mail: shop@ism-works.shop-pro.jp.

ISM WORKS
 ism-works.shop-pro.jp

